

千葉大学工学部都市環境システム学科の学生が、地元の方々のご協力を得ながら、平成20年に成東地区、平成21年に松尾地区のまちづくり提案を行いました。

今年度から「都市空間工学演習Ⅰ」という名称に変わり、蓮沼地区が対象です。5月に蓮沼地区の歴史、地域観光、現状などについて、講師の方々から話を伺いました。これから8月の発表会に向け、現地調査と地区分析を行い、各グループで具体的な提案をまとめる作業に入ります。

期間中、学生が地区内を訪問することがありますので、ご協力をお願いします。提案の発表会を開催しますので、ぜひお越しください。

日時：平成22年8月7日（土）午後1時30分～/会場：蓮沼出張所 【予定】



ご利用ください 「市民交流サロン」

ボランティア活動など、社会貢献活動（市民公益活動）を行う方々を支援することを目的に市民交流サロンを開設しています。交流、情報の受発信、打ち合わせ、資料作成作業などにご利用ください。

●利用時間・休業日

◇平日	午前9時～午後5時
◇平日の夜間	※必ず7日前までに申込みが必要です。午後5時～午後9時
◇土曜日・日曜日	※必ず7日前までに申込みが必要です。午前9時～午後5時

※ 祝日・年末年始（12月29日から1月3日）はお休みです。

●利用申込方法

利用日の2ヶ月前から7日前までに利用申請書をご提出ください。※申請書は市民自治支援課（市民交流サロン）窓口にあります。（市ホームページからもダウンロード可能）

●利用できる方・一部利用できる方

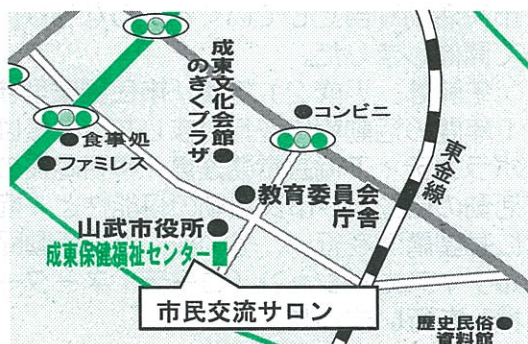
市内において、ボランティアなど市民公益活動を行う方（NPO法人、市民公益活動団体及び個人）。PTA、自治会は、一部の設備を利用することができます。（「設備・利用料金」一覧の☆印）※趣味の団体や個人、サークル活動を行う団体、政治・宗教・選挙・営業活動を行う方は利用できません。

●設備・利用料金

設備・備品名	用途	料金	一部可
コミュニティデスク(2台)	打合せ・作業台	無料	
パソコン(2台)	各種資料の作成、インターネット閲覧	無料(2時間まで)	☆
プリンター(1台)	パソコンデータ出力	黒:10円/枚、カラ:50円/枚	☆
印刷機(1台)	各種印刷 ※用紙は持参 ※インクは黒・赤色	1原稿あたり 100枚まで:60円、200枚まで:90円 201枚以上は100枚につき30円を加算。	☆
複写機	各種複写	黒:10円/枚(両面は20円)	☆
裁断機	用紙切断	無料	☆
パンフレットラック	PR用	無料	☆
レターケース	団体間の事務連絡用など	無料	
掲示板	PR用	無料	☆

発行：山武市 総務部 市民自治支援課
〒289-1392 山武市殿台296 成東保健福祉センター内
TEL 0475(80)0151
メールアドレス katsudoshien@city.sammu.lg.jp
FAX 0475(80)1177
ホームページ http://www.city.sammu.lg.jp

《第6号 平成22年6月12日発行（平成20年3月創刊）》



山武市 市民交流サロン だより 第6号 2010年6月

発行：山武市 総務部 市民自治支援課

市民提案型まちづくり事業について

「市民提案型まちづくり事業」とは・・・

NPO、ボランティア、地域などの市民活動団体から提案された公共性のあるまちづくり事業に対し、事業実施に係る経費の一部または全部を助成する事業です。（上限額設定あり）市民の皆さんが主体となる活動の推進を目指しています。

平成22年度 市民提案型まちづくり事業補助団体の紹介

審査の結果、次の団体が採択されました。活動への応援をお願いします。

団体名	事業名	団体名	事業名
1 花友会	遊休地に花を一杯にする事業	5 eco キッチンちゃんばん屋	ecoキッチンちゃんばん屋
2 花一輪	作田川堤防の美化運動	6 「ろうばい」で地域を美化する会	「ろうばい」で地域の美化を図る事業
3 さんむ釈迦堂の森再生プロジェクトの会	「とおoryんせ」里山を未来につなぐ遊歩道	7 さんむ農と福祉をつなぐ会	さんむ農と福祉をつなぐ事業
4 NPO 法人山武IT推進協会	やってみようよ！！パソコン！！		

市民提案型まちづくり事業 審査会委員募集

公平な視点で提案された事業を審査及び評価していただく委員（4名）を募集します。

応募要件	山武市に在住または在勤する平成22年4月1日現在20歳以上の方
募集方法	所定の様式に記載し、持参、郵送、FAX、メールのいずれかの方法でご提出ください。※様式は市民自治支援課窓口または各出張所窓口にて用意します。（市ホームページからもダウンロード可）※宛先、アドレスは最終ページを参照ください。
募集期限	平成22年7月1日（木）～平成22年8月9日（月）※必着をお願いします。
任期	2カ年（平成22年9月1日～平成24年8月31日）
報酬	一回5,000円（交通費含む）
選考方法	書類審査により選考し（必要に応じ面談）、結果は郵送で通知します。

新 市民提案型まちづくり事業補助金 説明会

平成22年度中に実施される自主的・主体的な公益事業で、市民活動団体や関係団体などが連携して地域において課題解決に取り組む事業に対し、事業に係る経費の一部または全部を補助金（限度額50万円）として交付する新しい制度です。（※今までの「市民提案型まちづくり事業」とは別の制度です。）

この事業の説明会を開催しますので、関心のある方はご参加ください。※事業は審査会を経て採択されます。

- 日時 平成22年6月29日（火）午後7時～
- 会場 市民交流サロン（成東保健福祉センター1階）



「100年後のふるさとへの贈り物」～水と緑ときれいな空気と心地よい空間を目指して～
「ECOひいきプロジェクト 2010」スタート!!

山武郡市内から応募のあった 21 団体の選考を行う公開プレゼンテーションを実施し、審査の結果、次の団体が採択されました。

これから各団体が、学校や地域の皆さんにご協力をいただきながら事業を進めていくこととなりますので、「100年後のふるさとへの贈り物」に向けて、ぜひ一緒に取り組みましょう。

残念ながら採択されなかった 10 団体も、今後、「ECOひいきチーム」として連携していきます。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



【平成 22 年度採択団体】

事業分類	団体名	事業の名称	主な活動地域
1 プレイパーク(子ども)	大網白里子育て支援ネットワーク協議会	「エコパーク大網白里子ども村」上総掘りから拡げる「環境を守る子ども育成」事業	大網白里町
2 サンプスギ利用促進	さんむフォレスト	資源循環型のすまいづくり・くらし方講座	東金市、山武郡市
3 里山	早船里山の会	早船里山の整備及び保全活動事業	山武市
4 里山・歴史	NPO御成街道保存会	東金御成街道の再生と周辺里山の保全	東金市
5 農業・地産地消	野菜の自産自消の会	野菜の協同栽培による自産自消	九十九里町
6 里山(谷津田)	ひやくしょう谷津田の会	早船丑堀地域の里山の活性化事業	山武市
7 里山(田園生活)	特定非営利活動法人ユース・サポート・センター・友懇塾	山武郡市型カントリーライフ・モデル形成事業	大網白里町
8 ゴミアート・木材利用促進	NPO法人さんむ杉のこ会	森をまつる in 日向	山武市
9 緑化(芝生化と緑育)・学校	校庭緑化応援団	校庭・園庭・広場・家庭の芝生化による地球温暖化の防止作戦	山武市
10 サンプスギ利用促進	NPO法人新月の木国際協会	新月伐採法のサンプスギ材による地球温暖化防止	山武郡市
11 廃油利用	農業を楽しむ会	家庭のてんぷら油のリサイクル	大網白里町

「地域活性化プラットフォーム事業」は、地域住民やNPOが、関係団体、市町村、県など地域の様々な主体と連携しながら地域課題の解決に取り組み、地域課題の解決に向けたネットワークの構築を目指す事業です。

山武郡市では「地球温暖化防止」をテーマに、21年度から22年度の2年間、この事業に取り組んでいます。このテーマに沿って活動する団体を募集し、審査を経て、採択された団体が助成金を受けて1年間の活動に取り組みます。

平成22年度はNPOなどの団体間や学校や地域などと連携を深め、事業終了後の「プラットフォーム」作りに向けたしくみづくりにも取り組みます。



活動に役立てよう... 助成情報の集め方...

①助成金に関する情報は、最近ではWebサイトによる収集が一般的になってきています。

例えば、下記のようなWebサイトがありますので、参考にしてみてください。

- (財)助成財団センター (<http://www.jfc.or.jp>)
- シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 (<http://www.npweb.jp>)
- 東京ボランティア・市民活動センター (<http://www.tvac.or.jp>)
- 千葉県NPO情報ネット NPO助成情報 (<http://www.chiba-npo.jp/>)

②企業による助成金プログラムや物品の割引・寄贈プログラム。

③市民、NPO、企業を結ぶ「地域資源循環システム『ちばのWA!』」(<http://chibanowa.canpan.info/>)

◆市民交流サロンでは、寄せられた助成金情報を掲示しています。こちらもご利用ください。



コミュニティ・ビジネスとは?

地域住民が主体となって地域の課題解決や生活の質の向上のために、ビジネス的視点を取り入れることです。地域を元気にするための事業です。

自分起こし、社会問題の解決、地域の雇用づくり、共に生きる社会づくりにつながる可能性を持っています。

退職後に何かしたい、「地域デビュー」してみたい、地域の資源や課題を何とかしたい、地元で起業してみたい...

そんな想いや悩み解決のヒントを探るのがこの講座です。

市では、平成 21 年度からコミュニティビジネス総合研究所の細内信孝先生を講師に招き、講座を開催しています。

5月16日(日)に講演会、以後、8月まで連続5回の講座を開催しています。

熱い想いや夢を持った受講生の皆さんが、自分の目標に向かって頑張っています!!



～「コミュニティ・ビジネス」の事例紹介～

「コミュニティ・ビジネス」はさまざまところで実践されています。皆さんの活動も実は「コミュニティ・ビジネス」かもしれません。ここでは一例をご紹介します。

◇花農場あわの(栃木県鹿沼市)

地元の8人の主婦が切り盛りしている農家レストラン。料理で使用する無農薬野菜は地域の農産物販売所から買い付けるなど地産地消を心がけている。10年前から1ヶ月に1回隣の有名レストランのオーナーシェフの元で指導を受け、メニューを毎月見直すなど質の向上に努めている。調理と経理を全員が交代で担当し、全員参加の運営をしている。

◇(株)いろどり(徳島県上勝町)

過疎と高齢化が進む中、お年寄りたちが活躍できる「つまもの二葉っぱ」のビジネスが誕生。「売れる」葉っぱを研究し、お年寄りたちに指導、現在は年商2億6千万円の企業に。身近なものが商品になり得る認識の違いに気付いたことが成功につながった。また、商品の供給にいち早く対応できる体制を築くため情報化に取り組み、お年寄り自らがパソコンを使い、市場からの注文に応じている。

◇(特)ひなたぼっこ(神奈川県平塚市)

女性起業家による民家を改造した「宅老所」で、定員12人までの小さなデイセンター。持ち家を改造することで起業の課題となりがちな家賃の心配がない。365日対応、介護している人が働き続けられるよう時間外の延長も可能。家庭的な雰囲気の中で過ごせる細やかなサービスが好評。

【参考資料「みんなが主役のコミュニティ・ビジネス」(細内信孝編著 ぎょうせい)/「コミュニティ・ビジネス講座(入門編)」配布資料】

(仮称)山武市自治基本条例策定委員会からのお知らせ

S「自治基本条例とは?」

具体的な定義付けはありませんが、住民による自治体行政・議会の役割、そして住民自身の責務と権利を定めているものが多く見られます。

委員会では、委員会設置要綱、会議のルールを自ら定め、現在は「住んで良かったまち」「いつまでも住み続けたいまち」「市民の市民による市民のための市政の実現」を目指し、市民主体の自治の実現の仕組みづくりに取り組んでいます。

～傍聴にお越しください～

委員会開催日は防災行政無線でお知らせしていますので、ぜひお越しください。

なお、条例素案ができましたら、地域にお伺いしますので、皆さまのご意見をお聞かせください。

「まちづくりシンポジウムinさんむ」を開催しました

平成22年3月22日(月・祝)、山武市成東文化会館のぎくプラザ

(主催:山武市・財団法人自治総合センター/後援:総務省・社会福祉法人山武市社会福祉協議会)

このシンポジウムは、市のまちづくりや協働のあり方について、市民活動に焦点をあわせ、市民活動が自立していくとどうなるか、自立するとはどういうことなのかを考える機会として開催しました。

午前は、平成21年度「市民提案型まちづくり事業」成果報告会を開催し、各団体による1年間の活動報告を行いました。午後は、社会福祉法人 大阪ボランティア協会常務理事・事務局長の早瀬昇氏による「市民活動の自立」～市民活動の可能性と「協働」の意味～をテーマに基調講演を行い、その後、市民活動団体代表者を招き、パネルディスカッション(コーディネーター:千葉大学関谷昇准教授)を行いました。

